

# 年齢調整死亡率について

## 1. 年齢調整死亡率とは

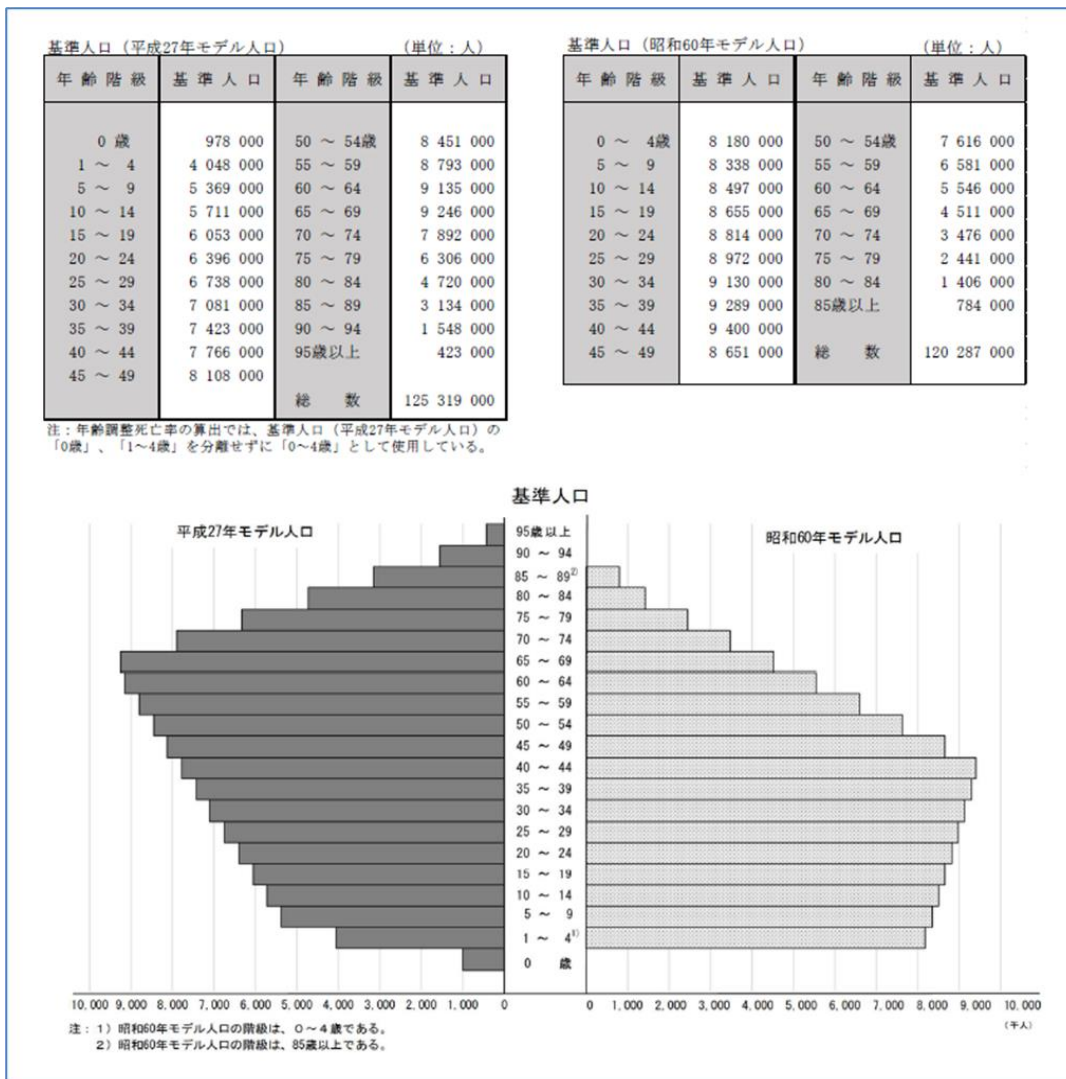
年齢構成の異なる地域間では一般に高齢者が多いほど死亡率は高くなり、年齢構成の違いを考慮せずに死亡率による死亡状況の比較は単純にはできないため、年齢構成を調整した死亡率いわゆる年齢調整死亡率を用います。年齢調整死亡率を用いることによって年齢構成の異なる集団について年齢構成の相違を気にすることなく正確に地域比較や年次比較をすることができます。

## 2. 年齢調整死亡率の基準人口への対応について

年齢調整死亡率の算定にあたっては、昭和60年モデル人口を用いていましたが、厚生労働省が公表する2020年人口動態統計から平成27年（2015年）モデル人口に変更されております。

「宮崎県健康づくり推進センターホームページ」の「データブック」では、平成27年モデル人口を用いた年齢調整死亡率の算出について最新の公表統計をもとに更新しますので、昭和60年モデル人口の算定は令和3年までといたします。

なお、過去との比較を可能とするため、年齢調整死亡率の基準人口を平成27年モデル人口にして遊及しています。（平成27年から令和3年については昭和60年モデル人口、平成27年モデル人口の両方で算定）



令和2年（2020）人口動態統計（確定数）の概況P22抜粋

## 3. 算出方法について

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left\{ \left[ \begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{（年齢階級）の死亡率} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{基準人口集団のその年齢} \\ \text{（年齢階級）の人口} \end{array} \right] \right\} \text{の各年齢（年齢階級）の総和}}{\text{基準人口の総数}}$$